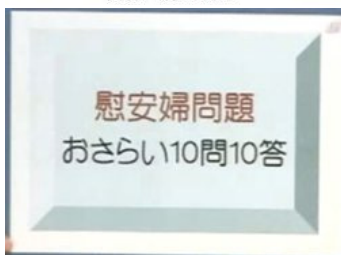


チャンネル桜「朝日が作った歴史」より

- 「慰安婦」強制連行説の虚構性**
1. 政府・軍の指示文書 **ゼロ**
  2. 加害者の証言 吉田清治氏のウソ以外**ゼロ**
  3. 目撃者の証言 **ゼロ**
  4. 被害者の証言 裏づけのあるものは**ゼロ**
  5. 日韓基本条約締結(昭和40年)の際の韓国側主張 **ゼロ**

チャンネル桜「慰安婦問題おさらい10問10答」より (インターネットに動画があります)



**Q 1 . そもそも「慰安婦問題」って何？**

先の大戦中、日本の軍や国家機関が組織的に主として朝鮮人女性を強制連行して将兵の性的欲求を処理する従軍慰安婦にしながら、戦後日本政府は一切その責任を取ろうとしなかったとされる問題。

**Q 2 . では朝鮮人女性の「強制連行」はあったのか？**

これまで朝鮮女性の強制連行があったことを証明する確かな根拠は一切、示されていない。

**Q 3 . 証拠としてはどんなものがあり得るのか？**

- (1)軍・官憲などが強制連行に関与したことを示す**文書**
  - (2)裏付けのある被害者の証言
  - (3)同じく加害者の証言
  - (4)同じく目撃者の証言
- これらの中、一つでも**確かなもの**があれば事実と認めてよい。

**Q 4 . 証拠となる文書はないのか？**

ない。そのことはいわゆる「河野官房長官談話」で広義の強制性を認めた河野洋平氏自身が「強制的に連行されたものであるかどうかということについては、**文書、書類はありませんでした**。」と名言している(平成9年6月17日)。

**Q 5 . 被害者の証言は数多くあるのでは？**

政府は韓国の運動団体(太平洋戦争犠牲者遺族会)が選んだ**16人の元慰安婦**の聞き取り調査を行っているが、**検証も裏付け調査もしていない**。

聞き取りには**福島みずほ**弁護士などが立会人として同席しており、**証言者名も証言内容も全く公開されていない**。これでは**確かな証拠にはとてもならない**。

さらに**元慰安婦**として韓国政府に届け出た人が**155人**。その中生存者は**74人**(平成4年現在)で、民間の運動団体、韓国挺身隊問題対策協議会に登録している者は**55人**。

その中で連絡可能な**40人余**を対象に聞き取り調査をした結果を擬対協が『証言集』として刊行している。同書は韓国外務省が「これに**全部**書いてある」と折り紙をつけた韓国サイドにとつての**切り札**の資料。

ところが韓国の運動団体の調査でも**矛盾**が多く、**省略**や**混乱**、意図的な**歪曲**などが激しく、実際に同書に採用されているのは**19人**の証言のみ。

その19人中、権力による**強制連行**の証言は4人だけ。その中の2人は**富山**や韓国の**釜山**など実在しない慰安所に連行されたことになっている。

残る2人は**金学順**・**王玉珠**両氏。しかし金氏は**母親**に40円でキーセンに**売られ**、文氏は宋という**朝鮮人**に「食堂で働かないか」と**誘われて**ビルマで慰安婦になった。

のちの**証言変更**に信用性はない。結局、信用できる被害者の証言は**ゼロ**-----

「元慰安婦」の証言は信用できるか？ 上野千鶴子氏「一番基本になるはずの当事者証言...**ご本人達が「強制があった」とおっしゃっている...**」

日下公氏「ご本人は『自分が進んでやった』とはそれは言わないでしょう。『強制された』と言うでしょう。そう言わなければ自分の親戚全部に迷惑がかかりますからね」  
上野氏「いまのご発言はご本人がうそつきとおっしゃったのと同じになります。」  
日下氏「はい、そうです」  
上野氏「...被害者と目される方たちも、日下さんによる揚げ足取りが可能のような多様性を持っていることを十二分に承知しております。」(朝日新聞社「論座」平成16年2月号より)

**Q 6 . 加害者の証言は？**

吉田清治氏(偽名、本名・雄兔)の**ウソ証言**があるだけ。

吉田氏は**軍命令**により全羅南道**済州島**で徴用隊10人、現地軍の兵10人とトラック2台によって**女性205人**を**強制連行**したという(『私の戦争犯罪-朝鮮人強制連行』昭和58年)。

しかし、吉田氏の証言が**全くウソ**であることは、現地の『済州新聞』(1989年8月14日許美善記者)の記事や**秦郁彦氏**の現地調査(『正論』平成4年6月号)などによって明らかだ。

吉田証言を取り上げさんざん強制連行を煽った『朝日新聞』すら「朝日新聞などいくつかのメディアに登場したが、間もなく、この証言を**疑問視**する声が上がった」(平成9年3月31日)と事実上の**否定宣言**を行っている。

**Q 7 . 目撃証言は？**

これも**ゼロ**。被害者と称する人がいても目撃証言が**韓国人**の中から**全く出てこない**のも不思議な話だ。

**Q 8 . 戦後の日韓国交樹立に当たっての交渉過程で慰安婦問題はとりあげられたのか？**

日韓交渉は**14年間**にも及び微細に両国間に存在する問題が**逐一**取り上げられたが、慰安婦問題について**韓国側も一切言及しなかった**。

**Q 9 . 証拠となる確かな文書も被害証言も加害証言も目撃証言もなく、日韓国交樹立に当たって韓国側も一切取り上げなかったことが国際問題化したのは何故？**

平成になって『朝日新聞』が火をつけ、宮澤喜一政権が「**謝罪**」路線に走ったから。  
平成3年8月11日、『朝日』の植村隆記者が元慰安婦の証言なるものを報じた(大阪本社版)これが「慰安婦問題」の**そもそも発端**だった。当時、韓国内でも一切報道は**されていなかった**。

その内容は金学順氏が「**女子挺身隊**」として「**戦場に連行された**」との捏造報道だった。  
女子挺身隊は日本国内の**軍需工場**や**被服工場**などに**動員**された人々で「戦場」に向向くはずはないし、もとより将兵の性的欲求とも全く無縁だ。さらに金氏は「**連行**」されたのではなく**貧しい母親に売られた**のだった。

つまり「慰安婦問題」は『朝日』の捏造報道から始まったのである。同年12月16日、韓国の**太平洋戦争犠牲者遺族会**が元慰安婦3人を含む**35人**を原告として一人2000万円、計**3億円**の損害賠償を求める訴えを東京地裁に起こした(高木健一主任弁護士\*)。

これを『朝日』が**大々的**に報じたことで一挙に**重大問題化**した。しかも問題を**決定的に悪化**させたのは、当時の**宮澤首相**の姿勢だった。

**真相**を明らかにし、どこまでも**事実**に基づいて韓国と対応することをしないで韓国側に責められるままに**非を認め謝罪**することで事態を沈黙化しようとした。それが宮澤内閣**総辞職前日**に発表された**河野官房長官談話**(平成5年8月4日)だった。

これによって**日本政府自身が「官憲等」**による慰安婦の「**強制**」連行への「**直接**」の「**加担**」を認めたことになり、国際社会におけるわが国の名譽は著しく傷つけられた。

**国民に事実を知らせないために、今日日本はこういう状態に！**

【日韓併合首相談話 2010.8】一部抜粋  
私は、歴史に対して誠実に向き合いたいと思います。歴史の事実を直視する勇氣とそれを受け止める謙虚さを持ち、自らの過ちを省みることに率直でありたいと思います。痛みを与えた側は忘れやすく、与えられた側はそれを容易に忘れることは出来ないものです。この植民地支配がもたらした多大の損害と苦痛に対し、ここに改めて痛切な反省と心からのお詫びの気持ちを表明いたします。  
**MSN産経ニュース**(2010.7.15)

**「慰安婦」政府への意見書、地方議会で可決広がる「後世に汚点」批判も**

全国の地方議会で、公的謝罪や国家賠償などにつながる「誠実な対応」を政府に求める意見書が相次いで**可決**されている。(注:なぜか東京都内で可決されている自治体が全部、今の管総理の旧東京7区の選挙区自治体ばかり??)

動画:朝日が作った歴史より(チャンネル桜)

(再生回数: 15万回超)(検索 朝日が作った歴史)

**「従軍慰安婦」への道**

『朝日』植村隆記者「従軍慰安婦強制連行」記事 (平成3年8月)

「元慰安婦」3人が補償を求めて日本政府を提訴 (同年12月)

宮澤首相、日韓首脳会談で植民地支配と「慰安婦」につき謝罪(平成4年1月)

その後、政府の調査で強制連行を裏付ける資料がないことが判明(同年7月)

河野官房長官談話で、**根拠資料なきまま強制性を認める**(平成5年8月)

中学歴史教科書全社に「慰安婦」記事(平成8年)

\*1 高木弁護士に関しては産経新聞阿比留記者のブログにこういつ記述があります。(検索 慰安婦 高木)  
高木氏に関しては、やはり最近、紙面やブログでサハリンでの残留韓国人支援問題での暗躍を取り上げてきましたから、それも参照していただければ幸いです。ともあれ、平成8年にインドネシアで取材した元日本兵で先の大戦終結後はインドネシアに残り、独立戦争に加わった石井サトリア氏はこんな経緯をこう指摘しました。

「慰安婦問題が浮上したのは三年前、日本から三人の弁護士が来て地元紙に広告を出し、**慰安婦補償のために日本から来たので面接したい。名乗り出てくださいと告知したからだ**」

\*2 「日本人が捏造したインドネシア慰安婦」中嶋慎三郎)

インドネシアでは2万2千人の女性が拉致され、騙された慰安婦だったと名乗り出ていますが、当時、インドネシア日本人は2万人です。それやあ、新聞広告で名乗り出れば200万円やるといって、現地では数十年分の年収になるわけですから名乗り出でしよう。それ以前には、騙された拉致されたとい出す元慰安婦は全く存在しなかったそうです。

スエノ社会大臣が、すぐにマスコミ関係者を集め、次の見解を明らかにした。

- 1) インドネシア政府は、この問題で補償を要求したことはない。
- 2) しかし日本政府(村山首相)が元慰安婦にお詫びをしてお金を払いたいというので、いたたくが、元慰安婦個人には渡さず、女性の福祉や保健事業のために使う。
- 3) 日本との補償問題は、1958年の協定により、完結している。

インドネシア政府の毅然たる姿勢で、**高木弁護士らのたくらみは頓挫した**。(韓国では成功?)

この声明の後で、取材した中嶋氏は、数名のインドネシア関係者から、次のように言われたという。  
「**今回の事件の発端は日本側だ。悪質きまわりない。だが、我々は日本人を取り締まることはできない。インドネシアの恥部ばかり報じてインドネシア民族の名譽を傷つて、両国の友好関係を損なうような日本人グループがあることが明白になった。あなた方日本人の手で何とかしてください**」

\*3 高木健一弁護士は現官房長官の仙谷由人氏の友人と言われています。(阿比留記者ブログより)

過去エントリで何度も取り上げてきたあの高木健一弁護士の名前がまたまた出てきました。そして、この**高木氏**に関して、**仙谷氏が7日の日本外国特派員協会での講演で「友人」として紹介したことや、共著もあることも**以前のエントリで触れた通りです。

MSN産経ニュース(2010.8.1)【土・日曜日に書く】政治部 阿比留瑠比 仙谷長官の危うい思想背景

慰安婦訴訟で暗躍  
「東京の高木弁護士」の指示を受けて始めた。「早く終わらせよ」と催促も受けた」  
協議会のタスリップ・ラハリジョ会長は当時、ジャカルタ郊外の事務所での取材にこう証言した。(中略)

サハリン高麗人協会のバク・ケレーン会長はこう語った。  
「東京で大きな弁護士事務所を開いている高木弁護士が、もつと日本から賠償を取れるから要求しなさいと教えてくれた」  
**仙谷氏の友人は、世界をまたにかけ、火のないところに火をつけて回っているようだ**。

**Q 10 . 日本は元慰安婦に対して賠償責任があるのか？**

ない。軍、官憲等による強制連行の事実が確認できない上に、昭和40年の日韓国交樹立の際に締結された「請求権・経済協力協定」によって「**完全かつ最終的に解決された**」ことが両国によって**確認**されているからだ。日本は同協定によって無償3億ドル、有償2億ドル計**5億ドル**を韓国に供与する巨額の経済協力を行った(当時の韓国の外貨準備高1億3000万ドル)。

**結論！ 慰安婦問題は法的にも史実的にも実在しない。河野談話による政治的幻影のみが存在し、日本の国益を損ない続けているのだ。**

靖国問題に火を付けたのは報ステの加藤千洋だった！

**靖国神社問題**

『朝日』加藤千洋記者 (昭和60年8月7日)

「中国『日本の愛国心を問題視』」ほか一連の記事によって8月15日の中曽根首相(当時の靖国参拝を繰り返し批判) 社会党田辺誠書記長ら訪中(同月26日)

こんなひどい事を中国は許しておいていいのかとふきこむ翌8月27日、中国姚依林副首相が始めて政府要人として中曽根康弘首相の靖国参拝を批判、以降靖国問題が外交カードとなる。

## チャンネル桜「歴史問題は日本発」より(ネットに動画あります)

歴史問題 日本発	検索
約 963,000件 (0.34秒)	検索オプション
歴史問題 日本発の動画検索結果	
「おさらい」歴史問題は日本発J2-1	
8分 - 2007年3月22日	アップロード元: TubuseCult4
おさらい「歴史問題」は日本発	
おもな歴史問題は以下の4つ	
①南京事件	
②教科書	
③靖国神社	
④慰安婦	

- ①南京事件
- ②教科書
- ③靖国神社
- ④慰安婦

## 南京問題のおこりは？

今につながる南京問題の発端は昭和46年8月から『朝日新聞』に連載された本多勝一記者の「中国の旅」。ここから全て始まっている。

東京裁判以降この連載が始まるまで、南京問題は日本国内でも中国でもほとんど取り上げられることはなかった。各社の中学校歴史教科書に登場するようにのみは昭和53年から(50年に1社のみ)。59年からは全社となる。ずっと南京問題が国際問題あるいは国内での歴史の重要なテーマになっていたのではないし、教科書にも昭和40年代の教科書にそういった事が大々的に書かれるという事も全くなかった。

中国の歴史教科書に「南京大虐殺」の記事が出てくるのは1979年(昭和54年)から。日本の歴史教科書より遅れて取り上げられている。南京大虐殺記念館の建設はさらに遅れて1985年(昭和60年)だった。

それまでこんな記念館もなければ中華人民共和国の教科書で大々的に日本の罪悪の代表例として反日の所在として取り上げられるような事もなかった。日本の教科書の方が先に取り上げて、そしてその教科書に取り上げる先鞭をつけたのは朝日新聞本多勝一記者の連載であった。

## 南京問題は『朝日』本多連載が起源だった。

## 教科書が国際問題化したのはいつから？

発端は昭和57年の教科書誤報事件 文部省記者クラブ所属の日本テレビの記者が、世界史の教科書の検定で、原稿に「侵略」とあったのを「進出」に書き替えさせられたと誤った報告をした。これを各社が確認もせず一斉に報道し、中韓両国の反発を招いた。これはこの年行われた教科書検定がどのように行われたのかという事について、教科書が多数あるので、各社が分担で調べて、各社それぞれ報告をして調べてを全社の共有財産として報道するという事であった。

しかし一般の報道であればいいが、重大な記事としてあげる場合は、当然各社ごとにその報道が正確であったかという確認、裏取りをしてから報道に及ぶのが常識である。それをしないで「これは大変だ」と大きく報道したので中国・韓国が一斉に反発した。しかも事態を致命的に悪化させたのは、当時の鈴木善幸政権の対応だった。

どういう対応？  
当時の小川平二文部大臣が国会で「書替えの事実なし」と明確に答弁(同年7月)したにもかかわらず、宮澤喜一官房長官談話なるものを発表し、教科書検定において中韓両国の主張に配慮することを表明。

その談話の実効化を図るべく検定基準に「近隣諸国条項」を追加して、両国の干渉を恒常化し、制度化する受け皿を日本自ら作ってしまった。

教科書問題は日本のマスコミ各社の誤報に端を発し、鈴木政権が対応を誤ったことで長期にわたる国際問題になってしまった。誤報から始まった。しかもこの時の日本政府の対応は中韓両国に非常に過ったメッセージを与えてしまった。叩けば日本は譲歩する。事実がないにも関わらず譲歩して、しかも教科書を今後中韓に配慮した教科書作りをしますという制度まで作ってしまった。これは中国・韓国に日本を扱うにはどうすればいいかという事について重要な教訓を与えてしまった。

MSN産経ニュースより 産経新聞の応援をよろしくお願ひします！  
初「全閣僚、靖国参拝せず」民主党政権下で異例の8・15(2010.8.15)  
65回目の「終戦の日」である15日は、菅内閣の自派方針の下、菅直人首相も閣僚もその他の政務3人も1人も靖国神社に参拝しない、政府に記録が残る昭和60年以降初初めての異例の日となった。「戦没者の鎮魂は国家の基本」(故藤波孝生元官房長官)という大原則は置き去りにされ、靖国参拝に反発する近隣諸国ばかりに迎合した結果だ。この日の靖国は、こうした民主党政権の姿勢や政策に対する懸念や憤りの声で包まれた。(阿比留瑠比) どの国の国益か 「菅首相と閣僚はどこの国の閣僚で、どこの国の国益を図って行動しているのか。どんなに糾弾しても糾弾し足りない」

## 首相の靖国神社参拝が国際問題化したきっかけは？

昭和60年8月15日の中曽根康弘首相(当時の参拝に対し、『朝日』の加藤千洋特派員が中国の抗議を引き出すとしたときが考えにくいような記事をしきりに流し、さらに社会党の訪中国が中曽根政権の「危険性」を大いに吹聴したため、8月27日になって初めて中国政府要人による参拝への非難がなされた。

振り返ってみてこれ以前、いわゆる「A級戦犯」が昭和53年秋の大祭で合祀されてからでも、歴代首相がすでに20回参拝を繰り返す、その間、中国は明確な抗議を全くしていない。中国の抗議はいわば後出しジャンケン、何の説得力ももたない。

従って、「中国さん何を言ってるんですか？ これまでいわゆるA級戦犯が合祀されてからでも歴代首相堂々とお参りしてきてお宅は何も行ってきてないじゃないですか、そんな事を言ってくるのはお門違いです」と一蹴すればよかった。

それなのに、ここでの中曽根首相は、中国の胡輝邦総書記に配慮して靖国神社参拝を取り止めてしまう。

この胡輝邦総書記がある種親日的な、日本と融和的な路線を取っていたことに対する共産党の保守派が攻撃を仕掛けていた、その権力闘争の材料として靖国神社問題が取り上げられたわけです。その胡輝邦を守るために自分はもう参拝しないという意思表示をして、何とか胡輝邦を守ろうとしたわけですけれども、結局胡輝邦は失脚してしまふ。

しかし日本には大きな負の遺産だけが残ったという事でありまして、吉田茂首相以降、戦後の歴代首相がほぼとぎれなく行って来た英霊への参拝がここで中断し、しかも中国側に靖国問題という外交カードを手渡してしまったのだ。

靖国問題は『朝日』と社会党の連携プレーで中国の攻撃対象として初めて浮上しました。中曽根首相の腰砕けによって長期にわたる厄介な外交カードに転化してしまつた。

## 慰安婦問題の場合は？

平成3年8月11日、『朝日』の植村隆記者が不明朗な捏造記事のスクープをおこない、謝罪路線に走った宮澤喜一内閣で慰安婦の強制連行を立証する確かな根拠が一切ないにもかかわらず、河野洋平官房長官談話(平成5年8月4日)で強制を認めたことで、慰安婦問題は国際的に固定化してしまつた。

平成8年には中学校歴史教科書全社で慰安婦の記事が登場。しかし「新しい歴史教科書をつくる会」などの取り組みによって、現行の中学歴史教科書では記事に取り上げているものはゼロになった。

## 結論！歴史問題はやっぱり「日本発」だった！

この問題の経緯を見ていきますと、中・韓は日本の「弱腰譲歩」というものに対する教訓を次々と学んでいきます。

それに対して日本政府は譲歩し、そして謝罪をするという事が事態をよこじらせ、やっかいにし、長引かせ、日本の国益を失っていくという事を学習することなく、ずるずると後退を続けてきたという経過であったことがわかります。

もう踏ん張らなければならないところに来ています。

## 靖国問題に火を付けたのは報ステの加藤千洋だった！(動画あり)

靖国神社 加藤千洋	検索
約 4,200件 (0.16秒)	検索オプション
YouTube - 靖国問題に火を付けたのは報ステの加藤千洋だった！	
★★★★☆ 3分 - 2009年8月4日	
朝日新聞に広告を出している企業に於いて、加藤千洋のしょう、電凸やメールで社説を書けば、朝日にとって、靖国神社は...	

朝日新聞の加藤千洋記者が昭和60年8月7日、中国『日本的愛国心を問題視』という記事をはじめとする一連の記事でもって、この年の8月15日に予定されておりました中曽根康弘首相の参拝について、繰り返して批判の記事を書いた。(中略：前ページ参照)

靖国神社を巡る外圧の発端は実に朝日新聞の火付け記者、火付け記事、まあ加藤記者は火付け記者と言っていいでしょうけど、そのように見てよろしいかと思ひます。

## 櫻井よし子さん「あなたのおっしゃるアジアってどこの国のことかしら？」(動画あり、再生回数137万回突破！)

櫻井よしこ アジア	検索
約 135,000件 (0.17秒)	検索オプション
櫻井よし子あなたのおっしゃるアジアってどこの国のことかしら...	
★★★★☆ 2分 - 2008年2月25日 - アップロード元: ssk	
拾得物	
www.youtube.com/watch?v=MeYgB8jshI - more vi...	

「アジア各国という時にですね、どの国とどの国を指しておられますか？」  
「えっと特にあの中国、韓国からそういう声が出ているので.....」

「中国と韓国ですね」「はい」  
「私たちはですね、ここで言葉をキチンと定義した方がいいと思うんですね。アジア各国というところ、アジア全域の事という風について考えてしまいますけれども、この問題について、特に激しい批判をしているのは、まず中国ですね、そして韓国ですね。

台湾などはもう積極的に要人がお参りに来ています。マレーシアの方だってそうですね。

ですから中国と韓国という事をまず定義したいという風に思いますし、それからこの靖国神社にA級戦犯が合祀されているからいけないというのはさっきその解説委員長がおっしゃいましたけれども、合祀は78年(昭和53年)それが発表されたのが79年ですね、その時も大平さんは行きました。次の鈴木さんも行きました。中曽根さんも82年11月からずーっと行きました。そして85年(昭和60年)の8月15日に行かれた時に、中国が批判をしたわけですね。

私達はでは問わなければならない。79年からずっと6年あまり何故中国は何も言わなかったのか。韓国も何も言わなかったのか。

それはずっと歴史を振り返ってみると、極めて明確な中国の国益に基づいた戦術というか、政策があるんですね。

85年に日本にクレームを付けた時ですね、国際社会の状況を見れば、ちゃんと中国はそうに言ったというその理由がわかるわけですね。

つまり中国が言っているのは、靖国だけの問題ではない、中国の国益を考えた時に、今、靖国に反対しなくていい、もしくは反対の方がいいというのがあって、靖国は入り口なんです。

もっと根本的な日中の問題、もしくは中国とアジアの問題というものがあるという事をここで申し上げたいと思ひます」

日本は『いい国だ』と言ってクビになった田母神さん。  
『日教組は日本の教育のガン』  
と言ってマスコミの大バッシングを受けた中山成彬さん。  
拉致実行犯の釈放嘆願書に署名し、国旗・国歌法に反対した菅直人が日本国総理大臣、韓国で反日デモに参加した岡崎トミ子氏が国家公安委員長？  
どうしてマスコミは、愛国者には大バッシングし、売国者の売国行為は取り上げないの？

## チャンネル桜「渡部昇一の「大道無門」」

チャンネル桜 渡部昇一	検索
約 28,200件 (0.20秒)	検索オプション

どうしてこう日本のためにないことをやりたがる政治家がいるのか。どうして日本のためにないことを書きたがる大新聞の社説があるのか。いろいろ考えて何十年経つんですよ。

それでついに結論に達しましたことは、日本悪しかれ(あしかれ)と思う思想をずっと抱き続けている人がいるんですよ。で、日本悪しかれという思想を抱いた人たちはね、戦前の左翼なんですよ。(現政権も?)  
この人たちは、スターリンのコミンテルンからお金も、支持も受けて運動して弾圧されたわけです。

あの時の左翼でも、コミンテルンうちの指示のうちのあほらしいもの、日本の皇室を廃止しようとか、そういう命令がきた途端に佐野学から始まって、田中清玄でも、立派な共産主義者はみんな離れてるんです。その時にね、あくまでも日本悪しかれと凝り固まった人たちはうんとと変わった人たちなんです。

で、そのかなり多くの新派の人たちは、はっきり言ってコリア系でした。コリア系の人にはね皇室がなくなるのは万歳ですよ。

「日本悪しかれ」なんですよ。日本にいい事は一切書かない。日本に悪いことばっかり言わせようとする。

ヒトラーも全体主義だけど、ものすごく愛国主義。ムッソリーニもそうです。スターリンもあんなこと言いながらもものすごく愛国ですよ？  
ところが日本の全体主義者はね日本嫌いなんですよ。それを考えると、思想としては、当人はそうかは別として、思想としてはコリア系左翼と。だから全体主義だけなら同じ国民だから我慢するけど、そうじゃないんですよ。「日本悪しかれ」なんですよ。